

水門側壁の状態。危惧した壁の基礎は案外頑丈で、今回の改修で更に強化された。2018年2月21日



カマ第二堰完工時の看板が残っている。普通数年でなくなるか傷みが甚だしいが、カマはそれだけ人々のマナーと秩序が保たれていることを示している。カマ主幹水路は河の分流のように豪快に水を流す(真冬でも 4 m³/秒以上)。それだけ広いのだ。2018年2月21日



コーティ・タラーン村の広がる緑。川側の耕地は殆どが着工後に出現したもの。洪水で荒れた土地は誰も手をつけなかった。作付けは大半が小麦で、小麦が間に合わなかったところはスイカ畑になっている。用水路終点付近。2018年2月18日



2018年2月22日 送水試験のために水をたたえる調節池Ⅲ。上流側から見る。



2月22日、調節池Ⅲ、初めて主幹水路の送水門を開ける。2018年2月22日



主幹水路の送水門をくぐる水。かなり豊富な水量で、真冬とは思えない。2018年2月22日



用水路約 4 km地点。麦畑が早々と広がっている。これまで川から水を引くことはできたが、洪水を引き込んで湿地を作るので、耕作できなかったのだ。
2018年2月22日



主幹水路の終点 4.9 km地点は、旧分流発生地点に相当する。自然河道だったから排水力は十二分、調節池IVを計画中。2018年2月22日



調節池IV予定地の川側土手はしめきり堤に当たる。1.5 km地点の調節池IIと同様に、強化堤防が予定されている。破綻すればタラーン村・ベラ村が再び壊滅するので、強化工事を急いでいる。堤防幅はさらに拡張される。2018年2月22日



しめきり堤の現在。堤防沿いに深掘れが発生し、河床が著しく低下している。冬の水位は2年間で2m以上下がり、この場合は歓迎すべき変化だ。L字型水制の著しい土砂堆積効果が見られる。さらに強化して鉄壁を築く。2018年2月22日



沈砂池Ⅲから上流の出来具合を確認しよう。



用水路B区。約 2.5 km地点。植樹準備中。2018 年 2 月 22 日



調節池Ⅱ(約 1500m地点)の現在。植樹を残して完工間近。漏水が著しいのでブランケット工を再度行う。2018年2月22日



調節池 I の現在。植樹完了で完工した。2018 年 2 月 22 日



取水口から調節池 I までの A 区は今年度中に完工する。現在上段の籠積みと柳枝工を施工中。2018 年 2 月 22 日



用水路A区約 200m地点。ヤナギ挿し木後約 10 カ月。2018 年 2 月 22 日



取水門の現在。水位 40 cm、超低水位だが、十二分の取水ができています。2018 年 2 月 22 日



カチャラ堰、(マルワリードII堰)堰体の高さは取水門床から約 65 cm。表面が乾燥して露出しているが適度の堰上げが出来ている。これを以て、合格。
2018年2月22日



マルワリードII堰砂吐の現在。かなりの量が通過し、水位もそこそこに保たれている。まだ堰板を入れるに至っていない。2018年2月22日

